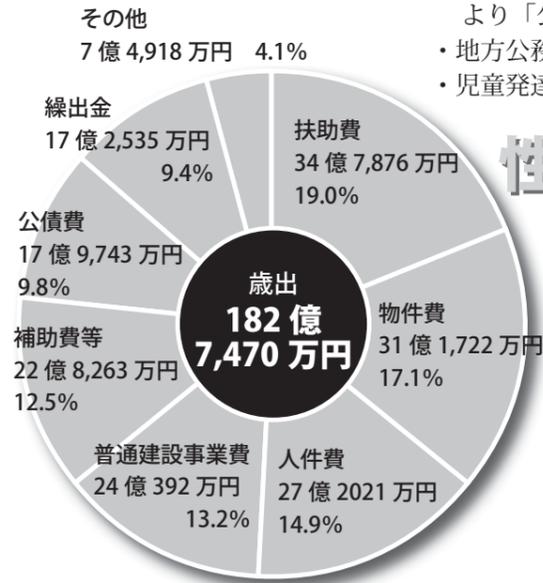




# 歳出 182 億 7,470 万円

366,300 円／市民一人当たり

平成 25 年度は前年度に比べ、2 億 2,326 万円の増額となりました。  
 ・ 葦山小学校大規模改修工事などにより「普通建設事業費」が 1 億 2,518 万円の増。  
 ・ 合併特例債や臨時財政対策債などの大型市債の元金償還開始により「公債費」が 1 億 2,675 万円の増。  
 ・ 地方公務員給与減額要請などにより「人件費」が 4,886 万円の減。  
 ・ 児童発達支援給付金などの増により「扶助費」が 1 億 1,779 万円の増。



## 性質別

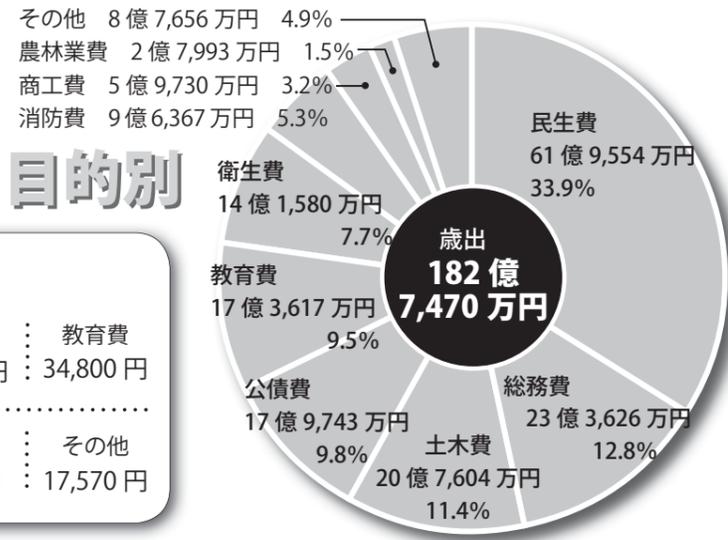
※市民一人当たりの換算額  
合計 366,300 円

扶助費	69,729 円	物件費	62,482 円	人件費	54,524 円	普通建設事業費	48,184 円
補助費等	45,753 円	公債費	36,028 円	繰出金	34,583 円	その他	15,017 円

## 目的別

※市民一人当たりの換算額  
合計 366,300 円

民生費	124,184 円	総務費	46,828 円	土木費	41,612 円	公債費	36,028 円	教育費	34,800 円
衛生費	28,379 円	消防費	19,316 円	商工費	11,972 円	農林業費	5,611 円	その他	17,570 円



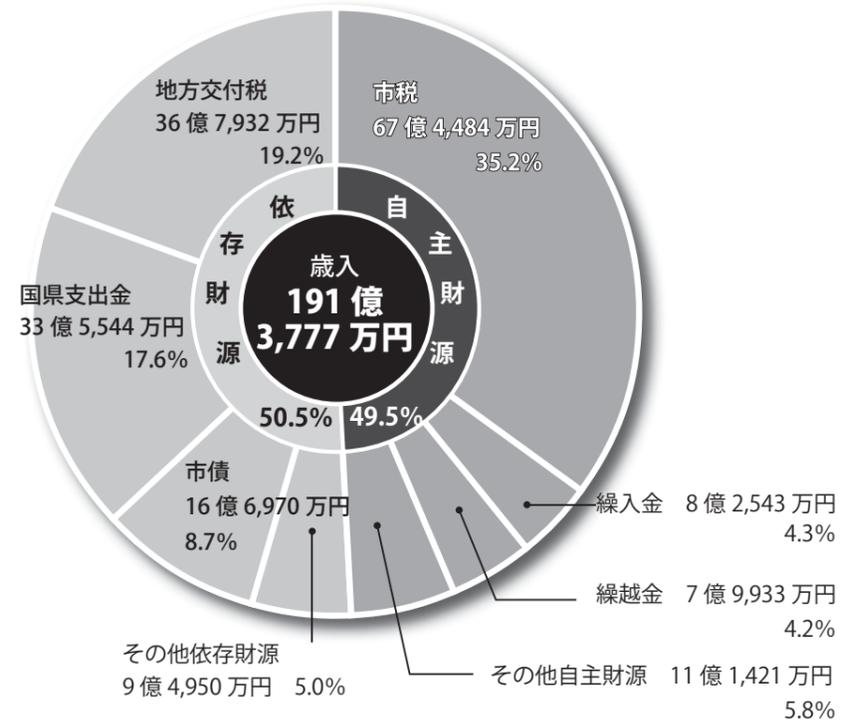
## 一般会計

地方公共 団体の中  
心となる 会計で、  
市政運営 の基本的  
な経費を 計上。

# 歳入 191 億 3,777 万円

383,599 円／市民一人当たり

平成 25 年度は前年度に比べ、2 億 8,700 万円の増額となりました。  
 ・ 地方経済の回復傾向などにより「市税」が 2 億 2,912 万円の増。  
 ・ 扶助費にかかる負担増加により「国県支出金」が 2 億 5,480 万円の増。  
 ・ 「市債」が 2 億 6,080 万円の減。



※市民一人当たりの換算額  
合計 135,194 円

市民税	57,146 円	固定資産税	66,007 円	軽自動車税	1,972 円
入湯税	1,952 円	市たばこ税	8,117 円		

【自主財源】市が自主的に得ることのできる財源。自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。  
 【依存財源】国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源。

※市民一人当たり換算額…単純に歳入・歳出項目を市の人口（49,890 人：平成 26 年 3 月 31 日）で割ったもので、一人あたりの負担額を比較するための数値です。

## 特別会計

特別会計	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	64 億 1,344 万円	63 億 4,822 万円	6,522 万円
後期高齢者医療	4 億 6,182 万円	4 億 6,084 万円	98 万円
介護保険	35 億 704 万円	34 億 4,966 万円	5,738 万円
楠木及び天野揚水場管理	1,989 万円	1,491 万円	498 万円
簡易水道等事業	5,490 万円	5,110 万円	380 万円
下水道事業	13 億 9,646 万円	13 億 6,101 万円	3,545 万円

## 企業会計

企業会計	収入	支出
上水道事業 収益的	6 億 7,927 万円	5 億 3,392 万円
上水道事業 資本的	2 億 7,274 万円	6 億 934 万円

## 借入金残高

市債現在高	249 億 1,387 万円
(前年度比)	5,470 万円
市民一人当たり	499,376 円

※市債の中には、国の交付税で措置されるものがあります。

## 預金残高

基金現在高	48 億 2,454 万円
(前年度比)	▲ 5,022 万円
市民一人当たり	96,704 円

市議会 9 月定例会で、伊豆の国市の平成 25 年度決算が承認されました。  
 決算とは、皆さんの税金や国・県からの補助金などが市にどのくらい入り、どのように使われたかという『市の家計簿』のことです。昨年度 1 年間の、市の家計のやりくりをお知らせします。

# 伊豆の国市決算状況

図 市役所財務課  
☎ 055-948-1414